

## 「証拠がない」：EU は毒ガス事件の騒ぎ立てを歓迎せず、メ イの頬をびしゃり

【訳者注】これはニュースとしての価値はほとんどない。ただ、その馬鹿々々しさ、愚かしさが、この時期の、狂気の西側を象徴するものとして意味がある。英首相テリーザ・メイと外相のボリス・ジョンソン（大真面目にプーチンをヒトラーになぞらえた＝末尾のビデオ）は、笑いものになっただけではなかろうか？ しかし、そうなっても、全くコタエないのが、反露政治家の例である。彼らは、ペドフィリア隠し内閣の面々でもある。

もう一つ問題は、日本の新聞が、このニュースを全く疑って見ないだけでなく、サマンサ・パワー流に「プーチンは恥ずかしくないのだろうか？」という、感情に訴える言い方をすることである。これは、何とかしてもらえまへんやろか？

RT (Russia Today)  
March 22, 2018



イギリスは、ソールズベリ攻撃（元ダブル・スパイ父娘への毒ガス攻撃）の犯人を性急に決めつけた。しかし、その同盟者たちは、同じようにすることを拒否している。報道によると、ブリュッセルに集まったEUの指導者たちは、モスクワを犯人にするイギリスの試みから、退きつつある。

元二重スパイ、セルゲイ・スクリパリとその娘ユリアが、ソールズベリで、A-234 神経ガス（別名 Novichok）にさらされた後、英首相テリーザ・メイは、ロシアを犯人だとした。英政府は、モスクワからの度重なる否定にもかかわらず、これは、クレムリンの指図による侵略行為の「可能性が高い」と言った。

**関連記事**：「告発と脅迫、しかし事実はどこに？——ロシアが西側に真実を問いたです」

<https://www.rt.com/news/421979-west-accusations-no-facts-skripal/>

この問題についての EU 会談の草稿テキストは、この攻撃を「最も強い言葉で」非難するようになっていた。このカッコの言葉は、EU のリーダーが、木曜と金曜に、ブリュッセルのサミットで議論するためのテキストに、加えられたもので、これは雑誌 Politico に出ていた。

しかし、誰がやったかの問題は変わらず、イギリスは、クレムリンが犯行者として認められるべきだと強調している。だが、ブリュッセルの同盟者たちは、英政府のように、証拠より先に判決を出すことを拒否している。

テキストはこう言っている：——

「EU は、英政府の、ロシア連邦の犯行の可能性が高いとする査定を、非常に深刻に受け止めている。ヨーロッパ連合は、ロシアによって開発されたタイプの、軍用規模の神経ガスが、70 年間で初めて、ヨーロッパ内部で、攻撃のために使用されたことに、衝撃を受けている。誰によってであろうと、どんな状況下であろうと、化学兵器を使用することは、完全に受け入れられず、我々すべての安全にとって、脅威となるものである。連合はロシアに対し、イギリスおよび国際共同体によって提起されたこの問題を、緊急に取り上げ、Novichok 計画の十分で完全な内容を、即刻、OPCW（化学兵器禁止機構）に提出することを要求する。」

この会談をよく知る外交官たちによれば、ギリシャとイタリアは、この文言を変える（強調する）必要はないと言った。ある EU の外交官は Politico に対し、「彼らは、**明らかな証拠がない**、少なくともまだない、と言っている」と伝えた。ギリシャは、文言を変えることは要求しなかったが、もっと「明らかな」文言にするように求めたという。

テリーザ・メイのチームは、全く曖昧さのない世界の賛同を期待していたのだが、そうはいかなかった。彼女は、先週、23 人のロシア外交官をロンドンから追放し、追加の処罰を脅迫している。

イギリスは、文言が、先週のそれより、特に独仏のそれより冷静になったのは、ブリュッセルに拒否されたためではないと言っている。しかし、27 か国全部を合意させるのは難しいと言った。特に、日曜日のプーチンの再選の後、トランプが彼に電話して称えたのは、テリーザ・メイにとってダメージだった。英米間の特別の友情が始まって、トランプが彼女を完全に支持してくれるかと期待していたからである。

[https://twitter.com/StandUpForBarry?ref\\_src=twsrc%5Etfw&ref\\_url=https%3A%2F%2Fwww.rt.com%2Fuk%2F422029-skripal-allies-gun-escalation-salisbury%2F](https://twitter.com/StandUpForBarry?ref_src=twsrc%5Etfw&ref_url=https%3A%2F%2Fwww.rt.com%2Fuk%2F422029-skripal-allies-gun-escalation-salisbury%2F)

ジャン・クロード・ユンカーもまた、お祝いの手紙をプーチンに送ったことで、イギリスを慌てさせた。EUのリーダーたちは、木曜日、EC（ヨーロッパ評議会）サミットの晩さん会で、新しいテキストを議論するだろう。モスクワを攻撃するイギリスの主張にもかかわらず、ロシアは繰り返し、ソールズベリにおける、元ダブル・スパイ、セルゲイ・スクリパリとその娘の攻撃には、クレムリンは何の関係もないと主張している。

ロシア大統領ウラジミール・プーチンは、英首相の告発を一蹴して、「ロシアが、選挙とワールド・カップを前にして、そんなことをすると主張するのは、ナンセンスで考えられないことだ」と言った。

<https://youtu.be/vgOi9Os7ReM> 「〈彼が核大国の代表とは恐ろしい〉——ジョンソン発言に対するロシアのコメント」（英外相ボリス・ジョンソンは、プーチン大統領をヒトラーにたとえる発言をした）

——以上